

# 会員拡大交流委員会事業計画

会員拡大交流委員会 委員長 山井 眞梨子

真岡青年会議所は、各々の地域に抱えている様々な問題や課題を解決しながら、日々邁進して参りました。時代は巡り組織内の環境変化に対応しながらも正会員減少に歯止めがきかず、本年は44名が足並みを揃えます。明るい豊かな社会を築く機会の提供を行うには、組織の新陳代謝が必要不可欠であり、この時代こそ斬新かつ柔軟な発想を生み出す青年を追い求めていかななくてはならず、貴重な人財を獲得するには迅速な拡大運動が必要です。

まずは、メンバー全員が拡大運動を主体的かつ実践的に行動を起こすために、基礎知識と疑似体験から学び取る拡大セミナーの機会を提供することで、拡大運動を行う力を養います。そして、拡大情報を LOM 全体に共有するために、候補者の情報が簡易的に視えるツールを作成することで、拡大運動を全体で行う環境を整えます。さらに、誰もが拡大運動の経験や成果の機会を得るために、積極的に取り組むことができる新たなシステムを開発することで、LOM 一丸となって能動的に持続可能な拡大運動を行います。また、仮会員・仮会員候補者へ私たちの活動を知っていただくために、多種多様な異業種交流会を設営し、参加者が有益で意義を実感する雰囲気をつくり出すことで、入会へつなげます。そして、私たちの運動を認知していただくために、JC運動の魅力を存分に発揮できる家族例会を開催し、大切な方々が実際に体感することで、双方にとって好循環を生み出す環境を整えます。さらに、卒業生が培ってきた伝統を受け継ぐために、熱い想いが募る卒業式を設営し、現役メンバーの活動意欲を掻き立てる機会を提供することで、次世代へ想いを伝承します。

仲間との出逢いが、人脈の輪を広げ各々の視野を広げる機会となり、組織全体で行う会員拡大運動の環境が醸成され、大切な方々と絆を深めた先に、JC運動の理解が浸透し、熱い想いを伝承する人財が持続的に行動し飛躍し続ける組織を実現します。もっと熱くなれ。

## <事業計画>

1. 全員で行なう会員拡大方法の確立
2. 次代に繋ぐ33%会員拡大
3. 事業で魅せる発信及び会員拡大
4. 全員で動く実働的な会員拡大
5. 日本青年会議所、関東地区協議会、栃木ブロックへの参加及び協力